

長期計画起草委員会

配付資料一覧

平成22年4月10日

	No.	資料名	備考
第1回 (9月12日)	1	小金井市長期計画起草委員会設置要綱	
	2	素案の骨格を考える上での各項目の要約（キーワード）	三橋委員
		第4次小金井市基本構想（素案）前半についての意見	鮎川委員 (審議会資料45)
		長期計画審議会・基本構想（素案）前半への意見	五十嵐委員 (審議会資料46)
		「長期計画審議会・基本構想（素案）前半」について	鴨下委員 (審議会資料47)
第2回 (10月4日)		協働について	渡辺委員 (審議会資料54)
		第4次小金井市基本構想（素案）前半についての意見	玉山委員 (審議会資料57)
	3	第4次基本構想（素案）前半の構成について	三橋委員
		小金井市協働推進基本指針	審議会資料55
		施策の大綱	審議会資料56
第3回 (10月11日)		第4次基本構想・前期基本計画に関する意見	今井委員 (審議会資料63)
	4	市民フォーラムに関する検討事項について	
	5	第4次基本構想（素案）第3章修正案	三橋委員
第4回 (10月31日)	5	第4次基本構想（素案）第2章修正案	
	6	第4次基本構想（素案）第1章・第3章修正案	三橋委員
	7	第4次基本構想（素案）第5章第1節修正案	永田委員
	8	第4次基本構想（素案）第5章修正案	渡辺委員
	9	第4次基本構想（素案）第5章第3節修正案	鮎川委員
	10	第4次基本構想（素案）第5章第4節修正案	玉山委員
	11	第4次基本構想（素案）第6章修正案	淡路委員
第5回 (11月22日)		第4次基本構想（素案）修正案に対する長期総合計画策定本部での意見について	審議会資料69
		第4次小金井市基本構想についての意見	鮎川委員 (審議会資料70)
		長計審への意見	町田委員 (審議会資料71)
		第4次小金井市基本構想（素案）修正案	三橋委員 (審議会資料72)
	12	第4次小金井市基本構想（素案）修正案	当日配付資料
	13	市民懇談会の概要について	当日配付資料

第6回 (12月12日)	14	市民懇談会チラシ	当日配付資料
	15	第4次基本構想(素案)中間報告	当日配付資料
	16	市民懇談会説明資料(案)	当日配付資料
	17	計画の推進説明資料	当日配付資料 淡路委員
	18	市民懇談会の概要について	当日配付資料
第7回 (1月16日)	19	第4次基本構想・前期基本計画の議論の進め方について	当日配付資料 三橋委員
	20	第4次基本構想・前期基本計画(素案)の総論について	当日配付資料 三橋委員
	21	第4次基本構想・前期基本計画(素案)の「環境と都市基盤」について	当日配付資料 五十嵐委員
第8回 (2月7日)		前期基本計画第2部2章と3章への意見	五十嵐委員 (審議会資料90)
		第2章「ふれあいと活力のあるまち」【地域と経済】 1 コミュニティネットワークについての意見	町田委員 (審議会資料91)
		前期基本計画一章・三章への意見	玉山委員 (審議会資料92)
		基本計画各論(2章、3章)に関する意見と質問	三橋委員 (審議会資料93)
第9回 (2月14日)		基本計画各論(4章)、計画の推進に関する意見と質問	三橋委員 (審議会資料98)
		計画の推進説明資料推進の訂正提案	淡路委員 (審議会資料99)
第10回 (2月27日)	22	第4次基本構想・前期基本計画(素案)に係る成果・活動指標及び主な事業の再検討結果	当日配付資料
		基本計画各論に関する修正後の意見	三橋委員 (審議会資料106)
	23	「成果・活動指標」「主な事業」と「重点政策」「将来像」	当日配付資料 三橋委員
	24	市民フォーラムチラシ案	当日配付資料
	25	市民フォーラム事前アンケート案	当日配付資料
第11回 (3月5日)		青年の市民参加を推進するための提言	審議会資料107
		保育関係再修正	三橋委員 (審議会資料108)
		基本計画への意見	玉山委員 (審議会資料109)
		基本計画について(補足意見)	鮎川委員 (審議会資料110)
	26	重点プロジェクト(素案)	当日配付資料
	27	現況と課題(素案)修正案	当日配付資料
第12回 (3月19日)	28	市民フォーラム事前アンケート集計結果	当日配布資料
	29	市民フォーラムの論点について(案)	当日配付資料 三橋委員
		第4次基本構想・前期基本計画(素案)中間報告	当日配付資料
		市民フォーラム説明資料	当日配布資料

第13回 (4月10日)		無作為抽出方式による市民参加の推進について	町田委員 (審議会資料118)
		基本構想の修正について	三橋委員 (審議会資料119)
		基本計画への意見	三橋委員 (審議会資料120)
	30	市民フォーラムにおける市民からの質問・意見の取扱いについて	当日配付資料

無作為抽出方式による市民参加の推進について

町田 裕紀

長期計画審議会及び長期計画起草委員会に対し、以下のとおり、ご意見申し上げます。

3月27日、28日に行われた市民フォーラムでは、無作為抽出による参加依頼により、これまで参加したことのない市民から、非常に活発な対話が行われ、私たち審議会の委員にはなかった視点から、鋭いご指摘や厳しいご意見も出され、非常に有意義な意見交換が行われたものと評価しています。

「こがねい市民討議会 2008」「こがねい市民討議会 2009」でも、同様に幅広い市民の参加を得ることができましたが、こうした無作為抽出方式による市民参加によって、いわゆるサイレントマジョリティからの意見を反映することができ、今後も市民協働を推進する上で非常に重要なものと思われま

そこで、こうした無作為抽出方式による市民参加の重要性を認識した上で、市民参加に関する取組について、以下の文章例のような形で、第4次基本構想・前期基本計画（案）の中に取り込んでいくことができないか、ご検討いただきたいと存じます。

記

頁	旧	新
140	【新】幅広い世代の市民参加を推進し、特に若者の市民参加を推進します。	【新】 <u>無作為抽出による参加依頼や大学との連携などにより</u> 、幅広い世代の市民参加を推進し、特に若者の市民参加を <u>促進</u> します。

※ 幅広い世代の市民参加のカギとなると思われるので、「大学との連携」も合わせて例示しています。あくまで文例として、ご検討いただければ幸いです。

3 社会潮流と小金井市の現状（特徴と課題）

(1) 社会潮流

今、社会を取り巻く環境は大きく変化しています。このような社会潮流を認識した上で、将来の本市のまちづくりを進めていきます。

● 少子高齢社会の進行

我が国の合計特殊出生率は、1.37（平成 20 年）と先進国の中でも最も低い水準であり、高齢化率は 22%（平成 20 年）と過去最高を更新し、中長期的にも少子高齢化はさらに進むと予測され、福祉・教育・労働・社会保障などあらゆる面での影響があると考えられます。

一方で、団塊の世代の大量退職や高齢者の増加により、新たな需要が創出されると共に、地域社会の担い手の役割も期待されています。

● 価値観の多様化

グローバル化により社会経済活動が地球的規模で展開されるなか、国際化や生活水準の向上などにより個人の価値観やライフスタイルの多様化が見られます。また、社会貢献に対する意識の高まりや、元気な高齢者の増加などにより、市民活動や地域独自の活動が活発化しています。

● 経済の成熟化

経済の成長率は 1990 年代以降の平均で約 1%、経済活動が成熟化してきた中で、今後も右肩上がりの高成長経済を見込むことは難しくなっています。持続的成長を目指していく経済構造の中で、新たな価値を創造し、雇用の安定を図り、生活の質を向上させていくことが求められています。

● 環境問題の深刻化

より快適で便利な生活を追求してきた一方、身近な自然が失われつつあり、森林の減少や大気汚染、温暖化などは、地球規模の問題となっています。地球環境を守り、次世代に引き継ぐために、産業構造の転換、廃棄物の発生抑制、リサイクルなどを進めると同時に、緑を守り育て、環境にやさしい循環社会の構築に向けた取組が求められています。

● 地方分権・自治の進展

社会経済環境の変化により地方分権改革は進展し、これまで以上に地方自治体の権限の強化や財源の拡充により、多様化する市民ニーズへのきめ細かい対応が期待される一方、「参加と協働」を推進し、自律した自治体経営を行っていくことが責務となっています。

(2) 市の現状（主要な特徴と課題）

私たちの住む小金井市には、様々な特徴と課題があり、まちづくりを進めていく上では、社会潮流を踏まえ、課題を解決しつつ、特徴をいかしたまちづくりを進めていきます。

A みどりと環境衛生

【特徴】みどり豊かで良好な住環境

本市は野川、玉川上水や国分寺崖線、武蔵野公園、野川公園、小金井公園など、豊かな水とみどりに恵まれています。雨水浸透ますの設置比率は世界一であり、野川流域では都内で唯一の自然再生事業の指定を受けるなど、私たちはこれらの貴重な自然を守り育ててきました。

また、市域に占める宅地の半分近くが第一種低層住居専用地域となっており、みどり豊かで良好な住環境を形成しています。加えて、1人当たりのごみの総排出量の抑制や資源化への取組は、近隣市に比べても進んでいます。

【課題】みどりの保全と拡大・ごみ対策

第3次基本構想の計画期間を通じて、みどりの保全と拡大を進めましたが、市内の緑地と農地は減少しています。こうした傾向を改善するため、現在あるみどりを保全すると共に、新たなみどりを創出する必要があります。

また、市内から発生する可燃ごみについては、老朽化が進行した二枚橋焼却場の運転停止により、その全量を多摩地域の各団体の支援に基づき、焼却処理をお願いしています。

このため、安定的かつ確実にごみ処理を行うことができるよう、建設場所周辺住民との信頼関係を重視しつつ新ごみ処理施設の建設に着実に取り組み、一層のごみの減量を推進することは市政の最重要課題となっています。

B にぎわいを創出するまちづくり

【特徴】便利な市内外へのアクセス

本市は中央線で都心まで約25分という場所に位置し、約4km四方と入り組みが少ないコンパクトな地形となっており、比較的発達した路線バス網が整備されています。また、平成21年12月に中央本線上が高架化し、踏切による慢性的な交通渋滞の解消や、鉄道により南北に分断されていたまちの一体化が実現しています。

【課題】駅周辺開発、道路などの整備とその活用

平成21年3月に武蔵小金井駅南口第1地区市街地再開発事業の「まちびらき」が行われましたが、今後更に利便性の高い生活環境を整備するため、コミュニティ広場や（仮称）市民交流センターの活用、商店街の活性化など、ソフト面での取組が求められます。また、第2地区の再開発の着実な事業化、東小金井駅北口土地区画整理事業の推進、武蔵小金井駅北口及び東小金井駅南口の再整備については、市民の意向を踏まえて着実に進めていく必要があります。都市計画道路の整備については、基幹道路の拡幅整備などにより、円滑な交通と市民の安全確保や利便性を高めると共に、周辺住民の防災対策の向上、地域経済の振興につなげていく必要があります。

C 子ども・高齢者・共生社会

【特徴】元気な高齢者と充実した教育環境

市民の平均寿命の長さやシルバー人材センターの組織率は全国でもトップクラスです。また、充実した学校教育に加え、生涯学習を含めた地域や家庭との連携と努力により、社会全体で子どもを支える体制の整備を進めた結果、都内でも上位に位置する学力を誇っています。

「こどもが元気なまちが発展する」を合言葉に市のイメージキャラクター「こきんちゃん」を活用した施策を展開しています。

【課題】子育て支援・高齢者福祉等の充実と共生社会の推進

本市の合計特殊出生率は1.05と多摩26市中23番目（平成20年）となっており、15歳未満の年少人口も他自治体と比べて低下が進行しています。待機児童の解消や保育サービスの充実、適正規模の学童保育のための環境整備などが課題となっています。

また、高齢者数が過去20年で倍増しており、元気な高齢者が要介護状態になることの防止、就業支援などによる高齢者の活躍の場づくり、今後も安心して暮らせる環境づくりなどが課題です。障害者福祉等については、ノーマライゼーションやバリアフリーの推進、就労支援の更なる強化などが求められています。

更に共生社会を推進し、人権や平和に関する啓発活動を強化するとともに、男女平等参画や国際交流を進める必要があります。

* ノーマライゼーション…高齢者や障害のある人などハンディキャップを持っていても、ごく普通の生活を営むことができ、かつ差別されない社会をつくるという福祉や教育のあり方を示す基本的理念。

D 参加と協働

【特徴】活発な市民活動

小金井市内にはNPO法人は56（平成19年）を数え、そのほかにも多くの市民活動団体などが様々な分野で活動しています。また、市と市民活動団体などとの相互の連携・協力を進めるため、小金井市協働推進基本指針を策定しています。市の重要な施策を実施するに当たっては、市民参加条例に基づき、住民参加による推進が実施されており、まちづくり条例・環境基本条例などの市民参加による制度づくりなどが進展しています。

【課題】参加と協働及び公民連携の推進

市民活動が活発化し、市民の参加と協働は進んできていますが、核家族化による地域交流の希薄化、町会・自治会の加入者の減少など、地域とのつながりが薄い市民も多い状況です。市民ニーズを把握するためにも、情報公開をより一層進め、市民の自治意識を更に高め、多数の市民の意見を市の施策に反映させていくことが課題となっています。

E 行政サービスと行財政改革

【特徴】特徴ある行政サービスと財政状況の改善

世界一の設置率である雨水浸透ます、早期に完了した学校の耐震化や「こきんちゃん」を活用したあいさつ運動など、特徴ある行政サービスを実施しています。また、市の財政の危機的状況

を脱却し、経常収支比率が多摩 26 市の平均的な水準まで回復しており、財政状況は改善されつつあります。税収に占める個人市民税の割合が高く、法人市民税などに比べて、経済情勢の影響を受けにくく、税収が比較的安定しています。

【課題】多様な住民ニーズへの対応と行財政改革

社会経済環境の変化により、行政需要は量的拡大に加え、質的にも多様化・高度化する一方、市民意向調査では、行政サービスに対する満足度は他の施策に比べ低くなっています。公的施設が未整備又は老朽化していることなどが懸案の一つですが、よりきめ細かく住民ニーズに対応するためには、民間活力の導入や市民との協働を進め、行財政改革を推進することも課題となっています。

一方で、日本経済は、人口減少に伴う経済活動停滞の懸念など、外部環境は厳しさを増しています。本市においても高齢化に伴う福祉分野での負担増の一方、市民の課税所得の低下が市税収入減少につながる恐れがあり、計画的な行財政運営を行うことが必要です。

また、駅周辺のまちづくり、新ごみ処理施設や新市庁舎の建設、さらには平成35年（2023年）頃からと見込まれる人口減少や施設の老朽化、金利の上昇（地方債残高の抑制）にも備えていく必要があります。

【参考（コラム）】市民意向調査

市民意向調査については、5年ごとに基本計画を策定する毎に実施されているが、今回、（審議会の指摘を受けて）市民フォーラムの実施にあわせて初めて施策分野ごとの重要度・満足度の調査を行った。その結果は、

【第3次基本構想の評価】

今回は、市の各部局の中で、第4次基本構想を策定にあたって、これまでの施策を踏まえたほか、審議会に対しては、過去に実施された事業をまとめた資料（審議会資料 番）の提出があった。しかし、基本構想の総括的、体系的評価は過去に評価基準等を設定していなかったことや、事務作業量が膨大となることから実施することはできず、後期基本計画を策定するに当たっての課題として、審議会から提言が出されることとなった。

5 小金井市の将来像

(1) 将来像

この基本構想では、平成32年度（2020年度）における本市の将来像を、

みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市

とします。

みどりが萌える・・・潤いや安らぎ、快適さをもたらしてくれる豊かなみどりは私たちのまちの大きな特徴です。私たちはこれまでもみどりを積極的に育んできましたが、それでも近年は減少しています。第4次基本構想では、みどりを増やすことを目標とし、第3次基本構想の将来像「元気で、萌えるみどりの小金井市」の理念を継承し、みどりをはじめとする自然の保全・創出を推進していきます。

子どもが育つ・・・「子どもが元気なまちが発展する」が私たちの合言葉です。私たちのまちは、まちの未来を担う子どもにとって、みどりが多く、教育環境が充実しています。保護者にとっても市内外へのアクセスが良いことなどから家庭と仕事の両立がしやすく、また、親世代や祖父母世代との世代間交流や子供向け地域イベントも盛んです。子どもにとってやさしく、楽しく、快適なまちは親世代・祖父母世代にとってもやさしく、楽しく、快適なまちです。第4次基本構想では、教育活動や保育サービス等を拡充し、世代間交流や地域全体で子どもを見守る施策を更に進め、次世代の夢を育み、全ての世代のしあわせが増進する、まち全体の発展を目指します。

絆を結ぶ・・・私たちのまちは市民活動が活発であり、様々なイベント等が開催され、参加と協働が進んできています。多様化・複雑化・高度化する市民ニーズに対応するためにも、第4次基本構想ではわかりやすい情報発信を通じて、参加と協働を更に進め、市民がつながり、支え合う、思いやりのあるまちの連帯を深めます。

そして、市民が「住みやすい」「住み続けたい」と思い、「住んでみたい」と思われるまちへ。

将来像実現を測る基本的な指標として、「住みやすさ」の向上と「住み続けたいと思う市民」の増加を目指します。

【基本的な指標】

評価指標1：「小金井市の住みやすさの向上」

評価指標2：「小金井市に住み続けたいと思う市民の割合の増加」

B 重点政策

重点政策は、施策の大綱で示した4つある柱を貫いて重点的に施策を展開するもので、社会潮流や市の主要な課題と特徴を踏まえ、①みどりと環境衛生 ②にぎわいを創出するまちづくり ③子ども・高齢者・共生社会 ④市民の参加と協働の推進 ⑤行政サービスの充実と行財政改革 の5つを基本とします。

詳細は各分野の施策及び前期基本計画にて重点政策の内容等を明らかにします。

基本計画への意見 (4月10日時点)

0. 市民へのアピール、広報について

- 市報、キャッチフレーズを含め、最大限の努力をする必要あり。
- 写真や図表を中心とした概要版を今からでもつくる。
- 自らの市民生活にどのような影響があるのか、実現できるのかについて、明確に示す必要あり。(市民フォーラムでは地区別等の議論もあったが。。。)
→将来像、重点プロジェクト、成果指標や主な事業を如何に伝えるか!!

1. 重点プロジェクトについて

→市民フォーラムではほとんど議論が出来なかったが、まだわかりにくいところあり。

①目指すべき姿と主な施策の関係がわかりにくいので、目指すべき姿やタイトル等を工夫する必要あり。(みどりと環境プロジェクトの学習環境の整備(校庭の芝生化)、公共交通機関の整備、など)

②成果指標を追記してビジュアル化できないか

③財政と重点プロジェクトの関係の整理をすべき。

みどりと環境基金が重点プロジェクトであるのに積めていないのに対して、庁舎基金は重点プロジェクトでないにも関わらず、3億の積立が出来ている。

→庁舎を重点プロジェクトとするか、庁舎基金ではなく、みどりや他の基金に積むようにするか?

P34 目指すべき姿1行目

みどりを保全・拡大→みどりを保全・創出

3. 財政について

→現時点では、それなりの計画となっており、歳入面は厳しく見積もっていると思われるが、まだ未確定な施策や金額が算出できていない施策や人件費の動向などを踏まえると、かなり厳しい部分もあり。

4. その他

①P279 行目 市と市民→市と市民など

②P28 基本計画の説明 1行目 基本構想を実現→基本構想の将来像を実現

③P28 基本計画の説明 2行目 施策の大綱を具体化→施策を具体化

④各論の現況と課題別紙参照(フォーラム前に指摘しているが、もう一度整理して出します)

⑤P126 施策の方向性1行目 喫緊→緊急(市民から指摘あり、のびゆくに合わせる)基本構想の施策の大綱部分も同様。

⑥P145 下から4行目 基本構想の実現→基本構想の将来像を実現

⑦P148 主な事業の「第3次行額大綱の推進」→施策分野は財政・財務のみか??

以上

市民フォーラムにおける市民からの質問・意見の取扱いについて

第4次基本構想・前期基本計画（素案）中間報告

日時・会場：平成22年3月27日（土）・28日（日） 市役所本庁舎3階第一会議室

No.	参加 回	アンケート 番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
1	1	1	-	・行政が取りまとめる施策に、市民が参加できる仕組みは大切であり、市民・行政共に変わらなければ基本構想等は「絵に書いた”もち”」になってしまう。	ご意見のとおり、審議会でも議論し、今回は第3次基本構想策定時と比べて大幅に市民参加を図り、基本構想に加えて基本計画も審議会の審議対象とし、市民討議会や市民フォーラムを行ってきました。今後、更に審議会としてパブリックコメントを実施しています。	修正なし
2	1	1	53	・生産緑地の減少を止めることが出来るのか。	相続の問題などにより、農地及び生産緑地は減少しており、減少自体を止めるのは難しいと考えられます。農地及び生産緑地の保全を図るとともに、農地以外のみどりの創出が必要であると考えられます。	修正なし
3	1	1	-	・構想等書かれている文体の統一を願う。	失礼いたしました。文体については精査して統一を図りたいと考えています。	
4	1	1	-	・カタカナ用語を少なくできないか。	できる限り分かりやすい表現とするとともに、カタカナ用語等については註釈を付けるように検討します。	要変更
5	1	1	-	・市民参加というならば「公民活動」という言葉は気になる。明治時代の”公民”を思い出ししてしまう。新しい言葉を作り出したらいかがですか。	もし、市民フォーラムの説明の中で「公民活動」と聞こえるように発音してしまっていたら恐縮ですが、素案の中では「公民活動」という言葉は使っていません。「公民連携」という言葉を使っていますが、こちらは第3次行財政改革大綱で「より広く、行政と多様な校正主体（市民、町会・自治会、NPO。企業等）が役割分担しつつ、対等の立場で連携する形態を指す語」として使われており、計画と行革の整合を図るために、取り入れているものです。	修正なし
6	1	2	146	・広域行政による関係自治体との協力連携 ・小金井公園、玉川上水について ①防災、観光、環境を含めて②玉川上水歩道の楽しめる改良③小金井公園駐車場入口、横断歩道橋の撤去（五日市街道）。普通の横断歩道の設置。その位置に玉川上水に歩道橋の設置（人、障がい者優先）。④小金井公園内高圧、送電線、東電、JRの地中化⑤小金井公園緑地部への臨時駐車場の設置をやめる。⑦小金井公園駐車場の増設反対（いたちごっこ）⑧良い意味で小金井公園	審議会でも、小金井公園は、私たちの住む小金井市における重要な地域資源であると議論してきました。防災、観光、環境を含めた活用を都と連携して図っていくことも大切であると考えられます。施策「みどりの創出」の「都市計画公園の整備・拡大」において、都との連携を追加する方向で検討します。	要変更
7	1	3	-	・SEIYUの裏の駐輪場が、14階建のマンション建設計画になっている発言に対して、市の回答は案に文切り型のお答えで、決ったものはしがたないというご返事でした。せっかくの市民参加型の市政を目指し、このようなフォーラムを企画してくださったのに、何ら実感のないご返事で残念でした。	平成23年度からの第4次基本構想・前期基本計画の内容というより、現在のことであると思うので、審議会ではお答えできませんが、今後は「参加と協働」によって市政活動を進めることが「基本姿勢」です。「参加と協働」を進めるためには、市にも一層の市民との対話を心掛けていただきたいと思います。	修正なし
8	1	4	-	・私は、この様な場に参加させて頂きまして、有難うございます。23区、市の色々な町、都市づくりをされている良いところを参考にされて、町作りをして頂きたいと思えます。この様に参加して、色々な経験をされて、見て、今日を生きてこれていらっしゃる方が沢山いらっしゃると思います。又、住んでいらっしゃる方々のお声をもっとすい上げて、ステキな小金井市になって行くことを心から願っております。又、何かお手伝いできますことはさせて頂きたいと考えております。有難うございました。	ありがとうございます。審議会では、他の区市の事例も参考にし、また、市民参加の拡大を市にも求めて、ここまで審議を進めてきました。素案では、審議会での議論を踏まえて、「参加と協働」を「まちづくりの基本姿勢」とし、また、市民の声を聴くことによる「市民ニーズの把握と共有化」を施策づくりの起点とするものとしています。ぜひ今後ともご参加いただければと存じます。	修正なし

No.	参加回	アンケート番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
9	1	5	71	初めて参加して、色々な意見を聞いて良い経験になりました。車を運転していて、自転車のマナーの悪さを感じます。武蔵野市のように車、自転車、人別の道路を作ってください。	ありがとうございました。審議会でも自転車レーンの整備について意見が出ました。市の方からは自動車・自転車・歩行者と分けられる道幅のある道路がないため、整備は難しいとの説明でしたが、「人にやさしい交通環境の整備」に向けた取組が求められていると考えています。	修正なし
10	1	6	71	1. 道路の整備 ①道路ならびに通学路の安心の確保 歩行者道路と自転車通路が狭く、段差が多い公道に植木が出すぎて道路幅が狭い。	市の方では、セミフラット方式の新しい道路ではでこぼこはなくなっており、歩道と自転車通路の分離はではそれだけの幅が取れる道路がないため難しく、公道にはみ出した植木については1軒1軒お宅に伺ってお願いをしているとのことでした。審議会では「人にやさしい交通環境の整備」としてバリアフリー化と交通安全の推進を施策として進める必要があると考えています。	修正なし
11	1	6	71・72	②自転車駐輪場及び路上駐輪の防御 放置自転車 駐輪値段が他市と比較して高い	市の方では、特に武蔵小金井駅十分では駐輪場が少ないため、努力はしているが厳しい対応が難しい状況であり、また、駐輪の料金は整備との関係で料金を下げることは難しいとのことでした。今後、市では駐輪場整備を進めるとしており、審議会としても成果・活動指標では放置自転車台数0台を目標としたところですので、この目標に向けて、効果ある取組としてほしいと考えています。	修正なし
12	1	7	71・73	・いずれの問題も、市単体で完結するものでないと思われるが、この構想の理念、問題意識を他の関係者（都、自治体、都市機構、企業）と共有しているのか、また説得しているのか？	第4次基本構想は、「基本構想の役割」（4）にあるとおり、「国、東京都、企業などに対し、本市が目指すまちづくりへの理解と積極的な協力を得る指針となるもの」です。審議会での議論を踏まえて、「理解」と「積極的な」という言葉を加えました。第4次基本構想を策定した際には、市も市民も、この基本構想によって理解と積極的な協力を得ていくことが重要です。	修正なし
13	1	7	71・74	・魅力ある街づくりの魅力って一体何だろう。中央線に乗っていて、どこの駅にもヨーカドーやイオンがあるような光景を求めているのだろうか。その点を根本に立ち返って考えてみる必要あるのでは。	小金井らしいまちの魅力とは何か。そこは審議会でも議論のあったところで、ご意見のとおり、小金井の特徴を見失っては、魅力あるまちづくりとはならないと考えています。審議会では、議論を踏まえて基本構想（素案）の「市の現状（主要な特徴と課題）」にまとめたように、「みどり豊かで良好な住環境」と「便利な市内外のアクセス」等が特徴であり、「みどりの保全と拡大・ごみ対策」と「駅周辺開発、道路などの整備とその活用」等が課題であるとして	修正なし
14	1	8	71・75	・P65地区水（地下水）などによる安全で美味しい上水道の維持明記したことを評価します。 ・P66成果・活動指標の地下水の割合の維持。明記したことを評価します。 ・P68「4. 水の安定供給」は、利用についてで、そのための地下水の保全が必要です。P51に、水道水源としての地下水を保全すること、飲み続けるための質の保全も明記してほしいと思います。水を汚さないように。P54にも取組として載せてほしいです。 第三次の後期基本計画のP25には、「『地下水、湧水保全条例』等を通じて、今後もより一層の取組の推進が求められています。」とあります。この条例の目的は「安全な飲料水を確保し、地下水の保全及び湧水の回復を実現すること」です。この条例も、小金井市の特徴の1つです。	「地下水及び湧水を保全する条例」に基づいて、「安全な飲料水を確保し、地下水の保全及び湧水の回復を実現すること」を目的として、これまでも取り組んできたことはご意見のとおりだと考えます。「水辺の拡大」の取組が、条例の趣旨を踏まえたものとなるよう修正します。	要検討
15	1	8	71・76	こうしたフォーラムは、これからもっと行われるべきだと思います。ただ、周知が足りなかったのではないかと残念です。	市民フォーラムは審議会として市に実施を求めてきたものであり、ご理解いただけたことを心強く思っています。住民基本台帳から無作為抽出された市民2千人に参加依頼書を送り、市報にも2回掲載し、掲示板や市のホームページにも掲載して通常以上の周知を図りましたが、より一層の参加が得られるように工夫を重ねるべきであると考えています。	修正なし

No.	参加 回	アンケート 番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
16	1	9	71・77	後日提出します。	審議会では常時ご意見を受け付けていますので、ぜひ事務局である市の企画政策課までお寄せください。	修正なし
17	1	10	71・78	財政財務 計画実現に伴なう、歳入不足を補う、積極的増収策を具体的に考えて欲しい。	どのように増収を実現するかについては、審議会でも議論がありました。「まちのにぎわい創出プロジェクト」は、そのための「重点プロジェクト」でもありますが、まちづくりを進め、地域資源をいかした創造的産業の育成や商業振興等によるべきであると考えられます。	修正なし
18	1	11	71・79	(都市計画の整備について)・すべての計画について財政の裏付けが必要であると同時に住民合意が整わない計画や公がする必要のない(民にまかせておいても進捗するもの)ものは精査する必要があります。	都市計画道路については、審議会でも実現可能なのかと市に意見し、財政的裏付けとなる中期財政計画の作成を求めてきました。計画の内容と中期財政計画の整合性については、今後も市に精査を求めたいと考えています。	修正なし
19	1	11	71・80	(環境について)・みどりと水について、都市の緑化の重要性以上に水辺の拡大(清流の復活:特に仙川)がヒートアイランド抑制やエネルギー利用の削減に効果的と思われるので、重点施策としていただきたい。	水辺の拡大については、「みどりと水」及び「道路・河川」の基本的な施策であり、自然再生事業に取り組み野川に加え、仙川の清流復活が大切であると、審議会でも議論してきました。「主な取組」として都への要望を盛り込んでいますが、市が直接行う事業ではないため、「主な施策」や「重点プロジェクト」とするのは難しいと考えられます。	修正なし
20	1	11	71・81	質問 ・都市計画道路は、計画決定されているものは、計画通りに事業決定し、施行するのでしょうか?	市によると、都市計画道路について平成18年度から27年度にかけて都と市で10か年計画を策定して、計画の中でできるところから順次進めていく考えとのことでした。審議会としては、関係者との十分な協議の上、進めるべきことを前提として考えています。	修正なし
21	1	12	71・82	枠組みについて ・基本計画と実施計画を別ける必要はないと考える。5年は短期間であり、実施をにらんだ基本計画にしたほうがよい。	不透明性を増す社会情勢にあつては、基本計画によって中長期的な計画性を確保しつつ、状況の変化を踏まえて実施計画の中で財源の裏付けを行い施策を推進することが必要であり、基本計画と実施計画の一本化は難しいと考えられます。	修正なし
22	1	12	71・83	みどりと水について ・生産緑地をみどりと評価するには疑問がある。	緑被率は航空写真で緑である部分を評価するもので、確かに畑地はみどりとされない場合があります。ただ、市内の生産緑地は植木の畑もあり、みどりとして評価できる部分もあり、また、畑地についても防災、地産地消や土とのふれあいの観点からも大切であり、保全が必要であると考えられます。	修正なし
23	1	12	71・84	仙川の緑化について、小金井市としても具体的な提案を基本計画の中に入れ、東京都に働きかけてもらいたい	仙川の清流復活については、審議会でも議論してきました。「主な取組」として都への要望を盛り込んでおり、その方向に沿って具体的な要望を提案してほしいと考えています。	修正なし
24	1	12	71・85	玉川上水の整備についても、具体的な提案を基本計画の中に入れ、みどりの重点的な課題にしてもらいたい。	玉川上水は、小金井桜が名勝に指定されており、文化財としても貴重なものです。文化庁の理解を得ながら、都とともに事業を進める必要があるとのことですが、「主な取組」では玉川上水をはじめとする桜の保全を盛り込んでおり、その方向に沿って具体的な要望を提案してほしいと考えています。	修正なし
25	1	12	71・86	電線の地中化を積極的に推進してもらいたい。	市によると電線の地中化は現在3路線で工事中であり、今後2路線での推進を予定しているとのことでした。素案では「電線類地中化の推進」を基本事業として明確化しており、審議会でも議論があったところです。市としても、可能な限り進めたいと考えています。	修正なし
26	1	13	71・87	自転車通路の整備(歩道と自転車用との色分け)	審議会でも自転車レーンの整備について意見が出ましたが、市の方からは整備に必要な道幅のある道路がないため難しいとの説明でした。ご意見の色分け等の工夫は、市として交通安全の向上を施策として推進するに当たって、検討してもらえればと考えています。	修正なし

No.	参加回	アンケート番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
27	1	14	71-88	・みどりのボランティア 公園、道路のボランティア活動も参加しやすくするために、園芸教育を開催し、それを通じてボランティアの育成、参加の促進をはかる。また、各家庭の玄関、庭を花でかざり参加する方法を考えてもらいたい。援助よりも市として認めることが大切だと思います。	市では公園で10団体、道路で6団体が活動されているとのことでした。審議会では、みどりを守り育てるためにも「参加と協働」が重要であると考えています。園芸教室や玄関・庭での花を飾ることによる参加等のご意見は、「みどりをはぐくむ仕組みづくり」として、何らかの形で盛り込めないか検討します。	要変更
28	1	14	71-90	・高齢化の進展による介護予防が非常に大切だと思う。高齢者のスポーツ大会というよりもっと地道な体操教室とか各種トレーニング等の方が実際に参加してみて非常に効果があると思う。	ご意見のとおりだと、審議会でも考えています。このため、介護予防事業の充実の「主な取組」として、「小金井さくら体操」の充実を素案で追加しています。	修正なし
29	1	15	71-91	基本計画は良くまとめられていて、感心しました。意見を申し上げます。(意見)(市民は気が付いていませんが、玉川上水と新田開発、大岡越前や吉宗の活用など) 1 観光の町としての整備とPR 小金井・野川公園、滄浪泉園、美術館、貫井社など。学校もボランティア活動、若者の関心を持つ街へのPRと行動。「みどり」と「歴史」、案内板、車のスピードダウン(バス観光)	ありがとうございます。現行の第3次基本構想・後期基本計画では、観光については記載されていませんでした。素案では観光を盛り込んでいますが、ご意見のとおり、審議会でも地域資源をいかした観光の推進が、小金井市を活力のあるまちとするために必要であると考えてきたところです。ホテルの誘致については、用地や相手もある問題なので、現時点で基本計画に盛り込むのは難しいですが、市として施策を推進するに当たってご意見を参考に検討しても	修正なし
30	1	15	71-92	2 市民・市役所とも義務を課すこと 市・指導方針 例えばごみ処理現場。市民・協力の義務・自覚 他市への迷惑をかけられない。自分の庭又は花。植 など。狭い道 車のスピードダウン	義務は市民にとって非常に重大なことです。条例に依らなければならぬこととされています。このため、義務を課すことはなかなか難しく、誘導策により施策を進めるのケースが多くなっています。このため、現時点で基本計画に義務について書くのは難しいですが、今後、市として施策を推進するに当たってご意見を参考に検討してもらえればと考えています。	修正なし
31	1	15	71-93	3 イベントの実施 市民の意思と市役所の意思疎通が図れます。	審議会では、「参加と協働」を「まちづくりの基本姿勢」とし、市民との対話と議論の場として市民フォーラムを開催しました。ご意見のとおり、今後もこのようにして、市民ニーズの本当のところをつかんでいくことが大切であると考えています。	修正なし
32	1	16	71-94	・市民参加型ということで、どうPRしていくのか。学生の参加→大学との提携・インセンティブの確立	幅広い市民の参加について、市民参加推進会議からの提言を受け、「計画の推進」の「主な取組」として追加しました。基本計画を踏まえて、今後、取組として進められることとなりますが、ご意見を踏まえて、大学との連携等を盛り込む方向で検討します。	要変更
33	1	16	71-95	・放置自転車について (1)景観として汚いと感じます。(2)商業施設が先に出来たために多くなっている。→分野別計画では事後的計画を。	放置自転車対策は、市の方でも今後駐輪場整備を進めて、厳しくしていきたいとのことでした。ご意見は、分野をまたいで複合的に施策を進める必要があるということだと思います。審議会でも、その点を議論し、重点的かつ横断的に進める施策として「重点プロジェクト」を設定しました。「重点プロジェクト」により、分野の壁を超えて整合の取れた施策の推進を図ることができると考えていま	修正なし
34	1	16	71-96	・放置自転車について(3)有料の弊害によって多くなっていることもありますが。→無料駐輪場の整備・仕組みづくりを。	市によると、現在2箇所の無料駐輪場があるとのことですが、今後は有料化しつつ、駐輪場を整備していく必要があり、受益者負担を求めざるをえないとのことでした。審議会としては、駐輪場をより多くの方が利用して放置自転車が減少するとよいと考えていますが、基本計画において、より多くの税金を投入して無料化することまで盛り込むのは難しいです。	修正なし
35	1	17	71-97	緑の問題は、唯一推進が具体的に目に見えるものなので、なるべく早く実施計画をまとめてほしい。長期計画を引っ張ることになり、市民の協力を得るにも役立つと思う。	計画では「みどり環境プロジェクト」を重点プロジェクトとして、重点的かつ横断的な推進を図るものとしています。市では平成22年度に緑の基本計画を策定することですので、それを踏まえて、実施計画の中で具体化が図られるものと考えられます。	修正なし

No.	参加 回数	アンケート 番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
36	1	18	35・71 ・98	<p>・「まちづくりの基本姿勢」（11ページ）の③「総合的なまちづくり」に「小金井市の地域特性を踏まえて総合的に行われるものです。」とあります。2008年のデータブックからも、駅から離れた前原町の1,2丁目の地域などで高齢化率の高い事が分かります。高齢になっても、自立して自分らしく住み続けるためには、商店街はもとより、医療や福祉サービスなどの機能を地域に分散し、歩いて暮らせるまちづくりが必要です。「まちの賑わい」は駅から離れた地域にこそ、地域住民のコミュニティが助け合いを生み出す人的な資源が眠っていると思います。しかし、この基本構想のまちづくりには、限られた地域である「駅周辺」に特化し、従来の「一極集中型」のイメージが強く感じられ、重点政策にもなっています。「総合的なまちづくり」が基本姿勢なら、地域全体のまちづくりをどうするのかも明記すべきです。具体的には中心より離れた貫井南センターの環境整備よりも、毎年2億以上のランニングコストと赤字を出しても、駅周辺の市民交流センターの環境整備を優先するという意味をしています。せめて貫井南センターで100人規模のホールが整備されれば、世代を超えた賑わいの場を作ることができるでしょう。賑わいについてもあまりに「駅周辺」に偏った文言を見直し、坂下や市境の区域にも機能を分散することで、「誰</p>	<p>審議会でも、更なる高齢化を踏まえて「歩いて暮らせるまちづくり」について議論がありました。素案では、地域センターがない西北部における「（仮称）貫井北町地域センターの整備」や、同じく児童館のない第一小学校・南小学校地区について「一小・南小地区児童館の整備」を「主な事業」として明確化し、各地域に必要な施設の整備を進めるものとしており、「一極集中型」ではないと考えています。ただ、基本構想（素案）の「市の現状（主要な特徴と課題）」で「駅周辺としたまちづくり」としており、駅周辺のみに特化したとの誤解を与えると考えられることから、表現を改める方向で検討します。</p>	要変更
37	1	-		<p>基本的な戦略として、協働の仕組みづくりが必要である。特に、60歳以上の人が増えており、参画の仕組みづくりが、計画成功のために必要である。</p>	<p>ご意見のとおり、計画を推進するためには「参加と協働」が必要であるとの考え方に立っており、重点プロジェクト「きずなを結ぶまちづくり」等により重点的かつ横断的な推進を図る計画としています。また、高齢者が地域社会の担い手としてより重要になると考えており、「高齢者福祉」では「高齢者の活躍場づくり」を打ち出しています。</p>	修正なし
38	1	-		<p>利便性よりもみどりが大切</p>	<p>ご意見ありがとうございます。審議会では、みどりとともに利便性もともに重要であると考え、施策の大綱（p.13）のとおり「自然環境と利便性が高いレベルで調和した、快適で人にやさしいまちづくり」が必要であると考えています。</p>	修正なし
39	1	-		<p>町会ごとに具体的にどの地区で何が行われるのかを明らかにし、その中で重点的な市民参加などを追加してほしい。</p>	<p>他市の基本計画では、地区ごとの計画を明らかにしている事例もありますが、比較的狭い市域であり、重点プロジェクトや中期財政計画としては具体的に盛り込まれていますので、他の計画で検討する方がよいと考えられます。</p>	修正なし
40	1	-		<p>掲示板が少ない</p>	<p>『こがねいデータブック2008』p.81のとおり、故障等により多少動きはあるかもしれませんが、広報掲示板が104箇所、市民掲示板が111箇所を設置されています。この他に町会・自治会の掲示板もありますから、4km四方の小金井市の掲示板の数としては少なくはないと思われます。</p>	修正なし
41	1	-		<p>もっと絵で分かりやすく示してほしい。</p>	<p>市の方では、見やすい計画書となるよう計画書づくりをすることとしているのですが、審議会としても、より見やすい計画・計画書となるよう、絵の活用も含めて、検討します。</p>	要検討
42	1	-	4・27	<p>主語が「私たち」となっているが、もう少し丁寧に書くとどのようなものとなるのか？</p>	<p>p.4「基本構想の役割」のとおり、「市」「市民」「団体」「事業者」になります。注を付ける等、分かりやすいように工夫を検討し</p>	要変更
43	2	19	5・52	<p>・素案のP5：「農用地・公園・緑地」は2割弱と記載だが、「緑化等」は27.9%となっている。（P52）その正誤性は？</p>	<p>前者は東京都による土地利用現況調査に基づく土地の用途の区分であり、後者は航空写真からみどりを測定した緑被率です。このため、緑被率では商業・業務地及び住宅地のみどりを数える一方、農地・生産緑地でもみどりとならない部分は数えないためです。</p>	修正なし

No.	参加回	アンケート番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
44	2	19	66	・“耐震化率”は、78%から90%に向上と記載。①マンションの耐震調査費だけでも、高額である。	耐震化については、審議会でも議論となりましたが、防災及び復興という観点からも推進が重要であると考えています。死傷者への対応やがれきの処理等を考えると、耐震化の方が社会的コストは低いと考えられるためです。ただし、建物は老朽化するため、耐震化された建物でも地震対策が必要である場合に留意する必要があると考	修正なし
45	2	19	54	②“マンションの屋上の緑化設備費”の援助費などを含めて、市の協力の具体性は？	素案では、当初、住宅の緑化は生け垣化などの推進のみとなっていました。審議会での議論を踏まえて、「住宅地や民間施設における壁面・屋上緑化の促進」を追加したところです。このため、具体的な促進策は、市の方で今後検討され、実施計画の中で具体化されることとなります。	修正なし
46	2	19	140	※市民参加型のオープンなフォーラムを増やしてほしい。活力があるまちづくりがより具体化する。（別の企画型フォーラムとして）	ご意見のとおり、「市民参加の推進」の一環として、この市民フォーラムのような市と市民の「対話と議論」の場を増やすことにより、「参加と協働」が進み、地域の活性化が進むものと考えられ	修正なし
47	2	19	153	【確認事項】P153の下から2行目、3行目は、平成22年3月（予定）ではなく、平成23年3月？	ご指摘のとおり、誤植です。第4次基本構想・前期基本計画の策定は平成23年3月の予定です。申し訳ございませんでした。	修正なし
48	2	20	財	・（経済）のポイントを問いたいの、その経済と結びつくことでもある大事な医療福祉とのつながりについての説明資料が少なかったのが残念です。	中期財政計画の説明のとおり、財政と福祉・医療の関係では、今後は福祉の費用である扶助費が増加していく見込みです。地域経済全体との関係では、特に試算した資料等を作成していません。経済と医療福祉とのつながりとは、具体的にどのような懸念等をお考えなのか、改めてお聞かせください。	修正なし
49	2	20	財	・せっかく資料を先に送付して下さったのですが、（基本計画）計画素案が現場でしかもらえないのでは片手落ちの部分があるのではないのでしょうか？→もし読んでいたら少し財源の心配は半減したと思います	中期財政計画については、審議会でも早急な作成を市に求めてきたものです。審議会の要請に応じ、市でも最大限作業を進めてくれましたが、複雑な算出と確認、市議会での説明等の手続きのため、当日となってしまったとのこと。	修正なし
50	2	20	財13	・P13療養給付費のことが書いてありましたが、知らなかったので参考になりました。	ありがとうございました。	修正なし
51	2	20	86	・商店街の活性化が進める工夫がもっと色々あると良いと思います。	商業活性化の施策については、審議会でも議論があったところです。ぜひアイデアを審議会にお寄せください。	修正なし
52	2	20	財9	・P9投資的経費に回せる余裕がなくなっている状況にありますが、いつか、その対策などをもう少し詳しく聞きたいと思います。	ありがとうございます。審議会としても、今後の財政状況は厳しいものであると考えています。第4次基本構想・前期基本計画により将来像と施策・目標を共有し、中期財政計画に基づいて中長期的な展望に立った財政運営を行い、「まちのにぎわい創出プロジェクト」によって税収増を図りつつ、行財政改革を進めることが必要で	修正なし
53	2	21	81	先行事例を計画の中に記述したほうがわかりやすいのではないか。	市民フォーラムのご発言では、「創造的産業の育成」の「現況と課題」等について先行事例を記述した方がわかりやすいというご趣旨でしたが、市によると工業系の産業が少ないため、インキュベーション施設（事業化支援施設）として農工大・多摩小金井ベンチャーポートを誘致してきたとのこと。これから、地の利の良さをいかした産業育成が期待されると考えられます。	修正なし
54	2	22	123	・退職者の活用 ・アクティブシニア	審議会にはシルバー人材センターの代表も参加しており、議論を踏まえて、高齢者をより積極的に地域の担い手として位置付け、「高齢者福祉」では従来の生きがいづくりから「高齢者の活躍の場づくり」としています。	修正なし
55	2	22	9・11	・まちづくりに小金井の資源を活用	市民フォーラムでのご発言では、人材が財産であり、活用を図るべきだという趣旨でした。審議会では、いかしていくべき小金井の特徴とは何かを議論し、市民活動などに注目して、「参加と協働」を「まちづくりの基本姿勢」としたところです。	修正なし

No.	参加回	アンケート番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
56	2	23	75	小金井の中の生活は20年目ですが、個人的それぞれの指導が大変むつかしいので、人と人とかかわりと、市の中の民にむけてのもっと心をひらきわかりやすいものとしてほしい。	ご意見のとおり、審議会でも議論し、「参加と協働」を「まちづくりの基本姿勢」とし、「さずなを結ぶまちづくりプロジェクト」を「重点プロジェクト」として進めていくことが重要であると考えています。	修正なし
57	2	23	139	もっと民の声をひろい上げてほしい。	審議会では「市民ニーズの把握」「参加と協働」を重視してきました。第3次基本構想策定時と比べて大幅に市民参加を図り、基本構想に加えて基本計画も審議会の審議対象とし、市民討議会や市民フォーラムを行ってきました。今後、審議会としてパブリックコメントを実施し、より一層の「参加と協働」による計画づくりを進め	修正なし
58	2	24	71・115	少子高齢化に伴う歳入減が見込まれる中、地方債が増えているようですが、H25以降は減少しております。計画が充実していく中で、本当に減らしていけるのでしょうか。	今後、事業が明確化する中で、より一層、事業費がふくらむ懸念はありますが、中期財政計画に基づいて、計画と財政の整合を取り、実施計画の下で予算編成を行うことで、地方債の抑制を図ることができると考えています。	修正なし
59	2	24	71・116	都市基盤の整備に関わることで、自転車用の道路の整備も進めて頂きたいと思います。	審議会でも自転車レーンの整備について意見が出ました。市の方からは自動車・自転車・歩行者と分けられる道幅のある道路がないため、整備は難しいとの説明でしたが、「人にやさしい交通環境の整備」に向けた取組が求められていると考えています。	修正なし
60	2	24	71・117	農業については、若い人達が農業に触れて感じるイベント等もっと増やしていくとよい。	小中学校や学童保育所等に農業者が協力して、市内で多くの取組が進められています。今後は、市民農園・体験型農園の拡充などにより、農業にふれる機会を充実することが必要であると考えていま	修正なし
61	2	25	71・118	・不勉強で申し訳ないのですが、黄金井あきないガレージについて	市によると、若手事業者や後継者づくりの人材確保・育成策として、関係団体と連携して、新しい人・若手を座額ではなく実践的な学習機会を提供する中で、市民起業の支援を行おうとするものとのことです。現在は未開校であり、今後、具体的に市として進めていくこととなります。	修正なし
62	2	25	86	・武蔵黄金井駅前には、複数の大規模店舗や商店街があり、消費者の立場としては非常に利便性が高く、選ぶ力と養うという点で大変効果的に感じています。ただ、やはり商店街は価格設定の限界や後継者の問題もあり、一番弱い立場に立たされるのではないかと思うのですが、市としては商業活動の活性化について具体的に現実的にどうとらえ、どういう取組支援をされているのか、又商活動活発化のために競争させる上記店舗商店街にとってどのような立場に立っているのでしょうか。中立という一言だけではなく、詳しく知りたいで	市は、商店会や商工会を支援し、商工会では黄金井名物市を行うなど個店の活性化を支援していますが、駅周辺のまちづくりが進む中で閉める店もあり、生き残りに努力している状況でもあります。審議会でも、商店会が地域の防災・防犯等の上でも重要であると議論がありました。素案では、商業振興モデル地区や黄金井名物マップなどの新たな施策を盛り込んでおり、「重点プロジェクト」である「まちのにぎわい創造プロジェクト」として重点的かつ横断的に、商業環境の整備と魅力ある商業・商店街づくりを推進していく必要	修正なし
63	2	25	139	・箇所にわたって「市民ニーズを起点として」という文言がありますが、具体的にどう「市民ニーズ」を採集するのでしょうか。	分野ごとに多様な市民ニーズを把握し、施策に反映するための市民意向調査や市長への手紙と、日々の業務にいかすための市長への手紙などの広聴活動により、市民ニーズの把握を図るものです。しかし、本当に市民ニーズを把握するためには、そうした調査や広聴活動だけでなく、市民参加・市民協働により、市と市民が対話・議論することが大切であると考えています。	修正なし
64	2	-	4	「市民参加」が基本構想の目的のところがないが、一番上位となるのではないか。	審議会でも、基本構想の目的及び「参加と協働」については議論となりました。審議会での議論を踏まえ、基本構想の目的は「市民のしあわせを増進すること」であり、「市民参加」はその手段となりますが、非常に重要なものとして「まちづくりの基本姿勢」としました。また、「市の現状（主要な特徴と課題）」として、特徴としていかしつつ、課題としてさらに高めていくものとしています。	修正なし
65	2	-	140	行政委員会には市民は参加できないが、どう考えるか。	現状では、市の審議会等には市民参加はできませんが、「参加と協働」を更に進めていくため、行政委員会・市議会に市民参加できる仕組みづくりを提言していきたいと考えています。	要検討

No.	参加回	アンケート番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
66	2	-	11	人と人とのきずなという言葉は観念的であり、情報の共有や決定への参加を基本姿勢とすべきである。	「参加と協働」については審議会でも長く議論してきました。最終的な決定は、選挙によって選ばれ、市民を代表する市議会が行うものであり、その範囲で「参加と協働」が進められるべきであると考えます。ただ、「参加と協働」は、市民と行政の力量や関係によって変わってくるものであり、小金井らしさを踏まえて「人と人とのきずなをいかした」進めていくことが必要であると考えられます。	修正なし
67	2	-	9	市民活動が盛んとあるが、三鷹市に比べて遅れている。	三鷹市では早くから協働を進め、小金井市としても見習うべきであると審議会でも議論してきました。この素案では「コミュニティネットワーク」「市民参加・市民協働」を前進させるため、現在の第3次基本構想・前期基本計画から大幅な書き換えをしています。	修正なし
68	2	-	75	市民協働センター、コミュニティポータルサイトをどうするのか	市によると、(仮称)市民協働支援センターについては、平成21年度に準備室を設置し、平成22年度から23年度にかけて市民検討委員会で検討することとしており、また、コミュニティポータルサイトは平成14年度から作ろうという思いはあり、それを支援するとともに、市民参加による記事づくりが期待されるとのことでした。審議会でも、そうした「参加と協働」により、地域を発展させる仕組みとなることを期待しています。	修正なし
69	2	-	74	どんなNPOが多いのか	介護福祉・障がい者支援などのNPOが比較的多いですが、まちづくり、環境、文化、健康づくりや各種相談など、幅広い活動分野となっています。	修正なし
70	2	-	128	子どものことについて、どう対応していけばよいのか。	合計特殊出生率は都平均より低い状況であり、将来像でも明確に子どもがのびのびと育つまちというのを明確化しました。「のびゆくこどもプラン」の策定を受けて、子育て支援だけでなく、子育てについても支援することを施策として位置付けました。	修正なし
71	2	-	71-72	高齢になり不便である。西の久保循環は1時間に2本であり、道路は車イスを使いにくい。	バリアフリー化を進めるとともに、歩行者を優先して自動車を規制する等が考えられます。「人にやさしい交通環境の整備」の中で「交通安全の推進」の取組として入れられないか検討します。また、市によると、車イスに配慮した道路は都市計画道路の整備の中で考慮されており、CoCoバスも見直しをしていくとのことでした。	要変更
72	2	-	35	高齢になっても自立したくらしができることが大切であり、駅周辺に集中させるのはいかがなものか。公共交通を改善し、坂下でも暮らせる考え方が必要である。にぎわいで欲しいのは(生活上)機能である。	地域で生活していくために、地域ぐるみの福祉を進める考え方から「地域福祉」を新たに設定しました。道路の安全性向上やCoCoバスの充実などを図るとともに、市内に17ある商店会が大切であり、「まちなにぎわい創出プロジェクト」のとおり、商業環境を整備し、魅力ある商業・商店街づくりを推進することが重要であると考えています。	修正なし
73	2	-	123	自分の住むマンションでは、高齢化が進んでおり、日帰りバスツアー等の企画を進めてきた。マンションとかにどんなことをしているかヒアリングをしないのか。公共で使える無料開放された施設を整備するべきではないか。	審議会では、「きずなを結ぶまちづくり」のためにも、自分から活動するキーマンが地域にいらっしゃることが重要だと考えています。市民フォーラムでは、市では清里山荘の利用や近くの町会・自治会の役員の紹介等の支援ができるとの回答でした。地域での活動について、地域センターを整備するとともに、集会施設等の活用に取り組むべきであると考えています。	修正なし
74	2	-	87-101	地域活性化のため、人を呼び込む仕組みづくりとして、陣屋跡の復活等、川崎平右衛門について、まちおこしの観点で取り組んでほしい。	現行の第3次基本構想・後期基本計画ではなかった観光について、素案では「地域資源をいかした観光の推進」を施策として位置付けたところです。また、「文化・芸術」の「歴史的文化の保全と継承」のとおり、市史の計画的な刊行を進めることとしており、その中で歴史的な地域資源が掘り起こされ、観光施策と結び付けられて	修正なし

No.	参加 回	アンケート 番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
75	2	-	82・83	ベンチャー・SOHO事務所について、財源を踏まえての考え方が見えてこない。学生のパワーを活かす等の具体的な試みが必要ではないか。	ベンチャー・SOHO事務所は、農工大・多摩小金井ベンチャーポートの次の段階となる起業支援施設であるとのことです。農工大・多摩小金井ベンチャーポートは有数の施設であり、もっとPRが必要であると考えられます。なお、大学との連携については、審議会の議論を踏まえて、「教育産業や商業と農業の連携等、産学官の協働によるビジネスの創造」を新たに取組として追加しています。	修正なし
76	2	-	106	図書館が貧弱であり、本館でも武蔵野市西部図書館に及ばない。	ご意見のとおり、図書館については非常に要望が強いと審議会でも考えています。このため、素案では市民ニーズに沿った中央図書館の整備を、市民を交えて検討することとしています。	修正なし
77	2	-	91	認定認証農業者とは何か	市によると、認証農業者とは所得目標200万円を改善計画を立てると認証するもので、市独自の制度で、補助を行うものとのことです。審議会には農業委員会からの代表者も参加していますが、市内の農業者は不動産収入や副収入で生活しているのが現状ですが、若手を中心に農業を産業化したいとの思いを持っていると考えています。	修正なし
78	2	-	91	市内農業の供給量は。	市によると、平成19年度の農業産出額の約4億2千万円、その内、野菜は約1億9千万円です。野菜の主要品目10品目の生産量では小松菜が87t、馬鈴薯が47t等の合計521tであり、150種類を超える品目を生産する少量多品目生産を行っているとのことです。	修正なし
79	3	26	105	・P105 図書館の指標が、図書貸出冊数というのは違和感がある。貸出数を増やすための選書が行われるとすれば、図書館の目的自体が違ってくのではないかと心配する。もっと人が集まる図書館を目指してほしい。来館者数の方が指標としてふさわしくないか。	図書館には、図書を貸し出す機能とコミュニティ施設としての機能があり、来館者数は後者の機能を重視した指標であると考えられます。しかし、他の公共施設と異なる図書館固有の機能は、図書の貸し出しであるため、「成果・活動指標」としては、その利用度合いを図る図書貸出冊数が適当であると考えています。もちろん、貸出冊数を増やせばよいのではなく、図書館としての選書の考え方をきちんと持つことが大切であると考えられます。	修正なし
80	3	26	104	・P104 [新]ワークライフバランスは、これからの社会の大きなキーワードになると思います。まず市役所が率先して、男女ともに育休だけでなく介護休暇もとれる体制をつくってほしい。制度があるだけでは定着しない。実施計画に期待したい。事業者への周知などどのくらいできるのか検討を。	市役所は特定事業主行動計画に基づいて次世代育成支援を行うことが義務付けられています。素案では、長期計画審議会の議論を踏まえ、男女共同参画の取組として、ワーク・ライフ・バランスの推進を盛り込んだところで、ご意見のとおり、市役所には率先した取組を期待しています。	修正なし
81	3	27	-	文化と教育に参加いたしました。ありがとうございます。文化のフォーラムと教育のフォーラムと分けての方が、具体的な市民の意見が出たのではないかと思います。	総合計画として、あまり分野ごとの縦割りとせず、全体的に議論できることが望ましいと考えて、4つの柱ごとの開催としました。ご意見は、今後の参考とさせていただきます。	修正なし
82	3	27	75	地域ネットワーク作りの拠点に既存の施設（集会施設含む）の利用を質問いたしました。答えがありませんでした。ぜひご回答をいただきたいです。	回答がなく失礼いたしました。ご意見のとおり、素案では、集会施設を地域住民の活動拠点と位置付けています。	修正なし
83	3	28	53	感想 ・中学校の学業レベルが高いとの報告があったが、これは小金井市が豊かな自然環境に恵まれていることにつながっていることと思う。これからも小金井市の自然を大事にしたい。	ご意見ありがとうございます。審議会でも、みどりは小金井市で一番の特徴であると議論がありました。今後とも、守り育てることが重要であると考えています。	修正なし
84	3	29	101	・文化振興事業については、企画力を活かし、新しい素晴らしいハコに負けないような素晴らしいコンテンツをお願いいたします。	ご意見のとおり、審議会でも議論があり、素案では、文化施設については施設をいかした効率的運営を施策として打ち出しています。	修正なし
85	3	29	113	・学校教育については、「なぜ国勢学力調査の結果がいいのか」の原因分析にありましたがとおり、「親も教育熱心だ」というところもあるかと思えます。けっして学校のカリキュラムがきちんと進んでいる、ということではないので、そのフォローも市側からよろしくをお願いいたします。	ご意見のとおり、保護者が教育熱心であることが、学力の高さの大きな原因であると考えられます。「教育内容・教育方法の充実」は、大幅に第3次基本構想・後期基本計画から書き改め、「分かる」「できる」「活かす」授業への改善などを打ち出しています。これらにより、更に充実した授業となることを期待しています。	修正なし

No.	参加 回数	アンケート 番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
86	3	29	-	・市職員の皆様へ 地方出身者で縁あって小金井市に家を建ててしまった者にとって、三鷹市でも武蔵野市でも府中市でも国分寺市でもなくここでよかったと思えるよう、基本計画の遂行をお願いいたします。	第4次基本構想(素案)の基本的な指標として、「小金井市の住みやすさの向上」「小金井市に住み続けたいと思う市民の割合の増加」を挙げています。ご意見のとおり、市職員にはこれをよく理解して、基本計画の推進に全力を尽くしていただきたいと考えています。	修正なし
87	3	30	140	①市民参加で若者参加が必要であるとあったが、どのような活動(PR)をしているのか?	幅広い市民の参加について、市民参加推進会議からの提言を受け、「計画の推進」の「主な取組」として追加しました。基本計画を踏まえて、今後、取組として進められることとなります。	修正なし
88	3	30	127	②子育て支援ネットワークの子育ての定義とは?(教育も含め)	「子育て」については、審議会でも議論がありましたが、「子育て支援ネットワーク」では、子ども家庭支援センター、保育所、幼稚園などの他、市民団体も含めた関係機関・団体による地域全体のネットワークづくりを目指すものです。なお、施策としての「子育て支援」は主として保護者による子育てを指し、地域全体での環境整備については「地域の子育て・子育て環境の充実」で取り扱って	修正なし
89	3	30	104	③子育て支援で保護者で母親だけでなく父親も積極的に参加できる仕組みはあるのか?	「子育て支援」の取組は、主として保護者一般を対象としており、特に母親・父親を区別していませんが、ご意見のとおり、ワーク・ライフ・バランスも関連すると審議会での議論から、「現況と課題」でふれました。ワーク・ライフ・バランスは、「人権・平和・男女共同参画」での取組となりますが、推進を図っていくことが必要であると考えています。	修正なし
90	3	30	-	ニックネームについて(思い付きを書いただけです) 「小金井市民だよ!全員集合」	アイデアありがとうございます。第4次基本構想・前期基本計画のニックネームを審議会で検討していきます。	要検討
91	3	31	100・101	・市民で芸術を楽しむコンセプトでNPO、学校、企業を巻き込み、市民交流センターを核に是非昇華させて下さい。	ご意見のとおり、多様な主体による小金井らしい文化振興の推進が必要であり、(仮称)市民交流センターの活用が求められると考えています。	修正なし
92	3	31	-	・行政と市民が対話する場は良かったです。	ありがとうございました。今後とも機会がありましたら、ぜひご参加ください。	修正なし
93	3	32	114	・校庭の芝生化のメリット、デメリットについて	校庭芝生化のメリットとしては、市によると子どもたちに好評であり、外でのびのびと遊ぶ児童が増えたとのこと。デメリットとしては、維持費の他、維持のために保護者などによるボランティアにご協力いただく必要があります。ご負担をおかけすることとがあります。競技種目やスパイクなどの制限は特にありませんが、芝生の生育にご配慮いただいている場合があるとのこと。	修正なし
94	3	32	113	・学校給食の時間の延長	学校給食の実質的な時間が極めて短くなっているのご意見でしたが、市からは、本来、必要な時間は時間割上で確保されているはずだが、そのとおりできていない場合があるということであり、指導していきたいとのことでした。ゆっくりと食事を味わうことは生活の基本となるものですので、きちんと時間を確保していただきたいと考えています。	修正なし
95	3	33	99	・文化と教育ということで、それをどのように小金井市に活かすのか、今ある文化、資源をどのようにPRするか、少子化の影響の大きな小金井市でどう子供を集めるのか、に力を入れていただきたいと思います。	ご意見ありがとうございます。「重点プロジェクト」では「きずなを結ぶまちづくりプロジェクト」「子育て・子育て応援プロジェクト」として重点的かつ横断的に推進することとしています。きずなを深める中で、文化や資源について共有され、また、観光施策をとおして内外にPRしていくものと考えています。	修正なし
96	3	34	-	無作為に抽出された一人としては、ついていくのにやっとという感じでした。一市民として、どの様にこれから参加できるのかも考えさせられる2時間半でした。	ご参加ありがとうございました。より分かりやすく、参加しやすいものとなるよう、ご意見は今後の参考とさせていただきます。	要検討

No.	参加回	アンケート番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
97	3	35	-	基本構想について、何も知らないまま参加しましたが、一つ一つの質問に対して分かりやすいいねいな回答をしてもらい、少しですが理解することができました。小金井に住んで、まだ3ヶ月と小金井についてはほとんど何も知らない身ですが、これを基に市民に対して聞いているこういった会に、また機会があれば参加していき、理解を深めていきたいです。	ご参加ありがとうございました。この市民フォーラムのような市と市民の「対話と議論」の場は大切であると審議会では考えています。素案では「参加と協働」を進めていくものとなっていますので、ぜひまたご参加ください。	修正なし
98	3	36	106	①公民館の活用において、ITを活用してほしい（一般の人の利用の利便性をはかる）	一般の人の利用の利便性を図るため、公民館の利用をITで手続きできるようにという趣旨でしょうか。「生涯学習」の「公共施設の充実」の「主な取組」では、地域の身近な施設として、公民館、図書館の充実と活用を図ることとし、また、「行政経営」の「市民サービスの向上」の「主な取組」ではITを活用した電子申請や公共施設の予約を充実するとしています。市として具体的に取り組む中で、ご意見を参考に検討してほしいと考えています。	修正なし
99	3	36	76	②PR手段として、町会の集会を活用したらどうかと考えます。	「市政だより」を閲覧していただいていることをはじめ、町会・自治会と市の連携は従来からされており、素案でも審議会の議論を経て追加したところです。市として具体的に取り組む中で、ご意見を参考に検討してほしいと考えています。	修正なし
100	3	37	9・19	・市内の中学生の学力がトップレベルである理由を分析されていますか。←より踏み込んだ分析を！	市からは、地域の教育への関心、家庭の教育力、教員の指導力向上努力、子どもたちの競い合い、中学校が安定し、小学校が充実しているためとのことでした。審議会でも、地域の安定や学校への信頼が大きいと議論したところです。	修正なし
101	3	37	-	住みやすさの向上、住み続けたいと思う→こがね暮らし快適化計画など（あくまで一例です）	アイデアありがとうございます。第4次基本構想・前期基本計画のニックネームを審議会で検討していきます。	要検討
102	3	37	-	・「第4次基本構想」等の無味乾燥なネーミングでは浸透しない。ニックネームをつけては？	ニックネームを付けるという素晴らしいアイデアをありがとうございます。アイデアありがとうございます。第4次基本構想・前期基本計画のニックネームを審議会で検討していきます。	要検討
103	3	37	140	・普及のワードの一つとして市報がありますが、読まない人も多い。少なからぬ理由として、「また、市報か」と思われてしまうところがある（私もそうでした）。思いきって使う色を変えたり、レイアウトを大胆に変えるなどして「おっ！」と思わせるようにしてはどうでしょうか。	市報は市にとって一番基本となる媒体であり、より多くの人に読んでいただくべきものであると考えられます。市として事業を進める中で、ご意見を参考に検討してもらいたいと考えています。	修正なし
104	3	37	54	“みどりが萌える”を前面に出すなら、例えば市庁舎や一般住宅の屋上緑化を推進するなど、象徴的な事業に入れてはいかがでしょうか。他の自治体との差別化にもつながります。	屋上への施設の荷重が耐震基準の範囲内である必要があり、建物の設計段階で屋上緑化が想定されていないと難しいのではないかと、審議会で議論となりました。他との差別化を図る象徴的な事業というご意見を参考に、市として事業を進める中で検討してもらいたいと考えています。	修正なし
105	3	38	-	1 文化施設・スポーツ施設間の路など、連絡バスの運行など、南口駅前からスタートする。施設内に談話コーナー、コーヒー等の接客コーナーも併せて	素案では、観光の観点から市内の回遊の取組を盛り込んでいます。CoCoバスは地域の公共施設を結ぶ路線となっていますが、道・バス・接客コーナー等について、市として事業を進める中で検討してもらいたいと考えています。	修正なし
106	3	38	76・87	2 小金井市PRコーナーの設置（市民コーナーとしても） 市民ホール、JR高架化など住環境、ボランティア活動などのPRコーナーを設ける。（狙い）自然環境・学校などに恵まれて、住居の街として老・壮・青につながる住みやすい街のPRなど	審議会でも、ヨーロッパ等のインフォメーションセンターを参考に、観光の観点から、駅周辺の拠点の活用が必要であるとの議論がありました。素案では、審議会での議論を踏まえ、「駅周辺の拠点などで市内の魅力ある地域情報を効果的効率的に発信する」ことを取組として盛り込んでいます。ご意見のとおり、市内内外への情報発信拠点が重要であると考えています。	修正なし

No.	参加回	アンケート番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
107	3	38	35・63	3人口増加策・経済発展策 長期基本計画の一環として、この会での意見と違いますが、小金井駅に中央線特別快速をとめる市民運動の展開（駅前広場の充実・市内に2駅あります。）	審議会でも、武蔵小金井駅の乗客数を伸ばし、中央線特別快速を止めるよう施策を進めるべきであるという議論がありました。素案では、審議会での議論を踏まえ、「成果・活動指標」として乗客数の向上を挙げており、その目標以上の達成が期待されます。	修正なし
108	3	-	36	少子化が進んでいる中で、どうPRして、子どもを増やしていくかという視点が欠けている。	審議会では、「重点プロジェクト」として位置付けるとともに、子育て支援や学校教育のみならず、子育て支援、待機児童の解消、ワーク・ライフ・バランスの問題などを議論し、「社会潮流と小金井市の現状（特徴と課題）」としても位置付けてきました。「のびゆくこどもプラン」でも少子化については記載されており、市の中でも共有されていると考えています。	修正なし
109	3	-	106	中央図書館の整備はどのような計画となっているのか。	審議会でも議論となったが、市民ニーズとしては、蔵書数もスペースの広さも課題となっていると考えています。市によると、中央図書館の整備については、調査の上で、市民参加で計画づくりを行いたいとのことでしたので、基本計画を踏まえて、今後、具体化されると予定です。	修正なし
110	3	-	100	「文化・芸術」では、民間の文化企業との連携はどのように考えているのか。	「個性豊かな市民文化の創造」のための取組として、「市内の大学、社会福祉協議会、NPO法人、江戸東京たてもの園、民間の文化企業やスタジオなど多様な主体との連携」を挙げています。市によると、特に民間企業の特定・想定はしていないとのことでした。特定の企業名を基本計画に盛り込んでいくことは難しいと考えられますが、審議会としては、スタジオジブリ等を含めて議論していき	要検討
111	3	-	100	駅周辺での市民交流センターはどこまで進んでいるのか。職業柄お役に立てることもあるかもしれない。無駄にならないお金の使い方を考えてほしい。	市によると、平成23年4月のオープンに向けて、(仮称)市民交流センターは取得及び指定管理者の手続きを進めており、指定管理者として、運営ノウハウのある民間の力を活用するとともに、協議会を立ち上げ、市民の意見を聞きながら管理運営を行いたいとのことでした。「参加と協働」によって施設が活用されることを期待し	修正なし
112	3	-	102	人権・平和事業では「成果・活動指標」で参加者が倍増するような目標となっているが、方策と予算はどうなっているのか。参加者が少ないのに、充実していくメリットはあるのか。	市によると、現在行っている事業の中により定員の大きな施設を活用すれば改善されると見込まれる事業があり、(仮称)市民交流センターの活用を含めて考えていきたいとのことでした。人権・平和は、市民生活の基礎であり、世代を超えて途切れることなく意識を高めていくことが必要であると考えられます。	修正なし
113	3	-	101・80	多文化共生社会の推進はいいことだが、治安の維持も考える必要があるのではないのか。	審議会では、マイノリティとされる人々について「共生社会推進プロジェクト」として「重点プロジェクト」に位置付けることが、バランスとしても必要であると考えています。「共生社会推進プロジェクト」の中では、多文化共生社会に向けた「文化交流の推進」とともに、町会・自治会・商店会などを中心として地域に根差した地域安全活動を支援する「防犯体制の強化」の施策も含め、きずなを結びながら、安全安心な共生社会の実現を目指すものと考えてい	修正なし
114	3	-	-	他市の事例をどの程度参考としたか。	審議会では、三鷹市などJR中央線沿線の各区市を念頭に、小金井市のよさ・実態を見ながら審議を重ねてきました。	修正なし
115	3	-	4・146	近隣市・都との連携や巻き込みを図っていく必要があるのではないのか。	ご意見のとおり、審議会でも議論してきました。基本構想（素案）の役割を国・都・企業等などに対して理解と積極的な協力を得るものとししました。また、審議会での議論を踏まえて、広域行政について市長会での参考に大幅な書き換えを行い、各種の協力・連携の場を位置付けるとともに、生活圏の拡大の対応、事業のの効果・効率・実現性及び市民の利便性向上のための交通網整備、災害対策、環境問題や共同開発等、広域行政推進の内容をより具体的に方向づ	修正なし

No.	参加 回数	アンケート 番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
116	3	-	100・105	施設について、「入館者数」「稼働日率」「平均利用率」と異なる指標を使っているのは、しっくりこない。	施設については、その特性・狙いに合わせた「成果・活動指標」の設定が必要であると考えられます。市の説明では、はげの森美術館はオープンな施設であるので入館者数とし、(仮称)市民交流センターでは未開設の施設であるため施設の稼働状況を比較しやすい指標でみるため稼働日率とし、公民館については市民が最大限利用できている状況に高めていくために平均利用率としているとのことです。(仮称)市民交流センターでは、文化の浸透なども指標として今後模索していきたいとのことですが、施策の成熟度合いに応じて、「成果・活動指標」をより適切なものに見直すのがよいと考え	修正なし
117	3	-	101	(仮称)市民交流センターの位置付け、目標はどうなっているのか、ハコモノが先では活用は難しいのではないか。	市によると、(仮称)市民交流センターは旧公会堂の貸館機能に加えて自主興行を行う市の文化活動や交流の拠点となる施設とするもので、これまで(仮称)市民交流センター基本構想・基本計画(平成14年3月)及び開設準備計画(平成19年3月策定)等を含め、料金、貸出管理、市民参加の仕組みづくり、事業計画などについても検討して計画的に推進してきたとのことでした。審議会としても公会堂建替への要望への対応であり、文化活動をしている方の発表場所の苦勞なども聞いており、小金井市の文化芸術進行の中心として、「参加と協働」による活用を図っていただいと考	修正なし
118	3	-	104	(仮称)男女平等推進センターの検討となっているが、検討の内容は何か。	市によると、(仮称)男女平等推進センターについては今は場所や事業計画等は決まっていないとのことです。主な事業は、詳細はともかく場所や事業費等の概要が固まっているものを取り上げるのが基本であり、場所等も未定の段階で載せるのは目玉となるようなものに限られています。(仮称)男女平等推進センターについては、仮に施設整備という形をとらなくても何らかの整備を進めることが必要であり、「重点プロジェクト」の「共生社会推進プロジェクト」でも取り上げているものです。	修正なし
119	4	39	128	働きながら保育園(市立)学童保育所に子どもをあずけています。二人の子どもを持つ母親として、保育サービスの拡充は切実に望んでいるところです。しかしながら、サービスの拡充とひきかえに、いわゆる保育の質の低下するようなことがあっては困ります。くれぐれもそんなことにならないようお願いします。	ご意見のとおり、審議会でも議論となりました。保育サービスについては、その拡充を明確化しつつ、審議会での議論を踏まえて、人材育成の充実を盛り込んだところです。	修正なし
120	4	40	139	市民ニーズの必要性を 広報車で流しては 広報効果での意見を集めては	アイデアありがとうございました。ご意見を踏まえて、より深く広く市民ニーズを把握する方法を、市として検討してもらえればと考えています。	修正なし
121	4	41	146	・子育て、子育てについて多く意見しました。 ・市民参加、市民ニーズが中心に進む計画と信じています。計画をスムーズに進めることもたいせつですが、慎重に進めることはもっと大切だと思います。	素案では、施策マネジメントを確立して適切な実施を図るものとしており、無理なくという意味合いも含むものと理解しています。	修正なし
122	4	41	-	・淡路委員の発言は、わかりやすかったのですが、「トップダウン」のイメージが強かったです。	ありがとうございました。行政ではボトムアップの手続きが多いため、ややトップダウンの動きを強調した説明となっていました。審議会ではトップダウンとボトムアップを整合することが大切であると議論してきています。トップダウンのみに偏る考え方ではないとご理解いただければ幸いです。	修正なし

No.	参加回	アンケート番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
123	4	41	140	・オープンな場でのフォーラムもたいせつですが、各個別組織（PTAや学童の運営協議会保間協など）との議論も重要だと思いました。	市によると、市には約60の審議会等があり、また地域の各団体も合わせれば数百あるとのことでした。関係団体等とのヒアリングについては審議会でも議論となりました。策定スケジュールの関係もあり、各団体と市では日常的な接点もあると考えられることから市の各部署とのやりとりを多くして、意見を吸い上げるよう努めました。後期基本計画に向けての課題とさせていただきたいと考えています。	要検討
124	4	42	105・106	①放課後子ども教室 ・実行委員会の構成として考えているものはどんなものか。 ・上位計画の方が、より具体的になっている。下位計画との整合をはかってほしい。→重点が置かれているようだけれど、どうやったら充実できるの？放課後は時間が減るし、施設のとりあいは起こるし。	基本計画の「主な事業」では具体的な事業を書くことになっており、「のびゆくこどもプラン」と違った構成となっています。考え方は整合を取っていますが、書き方に違いがあるため、このようになっていることとご理解ください。「充実」とは、p.48「施策の読み方」の欄外注にあるように、「既存の枠組み内での向上を伴う継続」を意味しています。限られた時間・施設における充実を図るとともに、市民実行委員会形式に基づく「参加と協働」により市民に納得のいく形で調整されることが大切だと考えられます。	修正なし
125	4	42	114	②学校施設の地域開放 児童生徒と保護者、地域市民と施設の取りあいはすでに起こっている。限られた施設をどうやって住み分けるの？	施設の充実を図るとともに、「参加と協働」により市民に納得のいく形で調整されることが大切だと考えられます。	修正なし
126	4	42	111	③「勉強（国数）が好き」の割合はどうやってだすの？	全国学力学習意識調査で項目の1つで、毎年、児童・生徒にアンケートを全国で行っているものです。	修正なし
127	4	42	127	④子育て支援ネットワークってなに？	子ども家庭支援センター、保育所、幼稚園などから市民団体などで、地域の子育てに関する関係機関・団体のネットワーク化を図るものです。今後、具体的なネットワークづくりを市として進める予定とのことです。	修正なし
128	4	42	105	⑤公民館の平均利用率の算出法。	公民館各部屋について、年間の全利用可能日を分母、実際の利用時間を分子として算出するものです。市によると、抽選等は団体ごとに行うため、前後の利用団体で利用時間のズレが生まれることとなり、実質上、平均利用率70%とは相当効率的に利用されている状態ということになるとのことでした。	修正なし
129	4	42	140	⑥講座の企画など、市民が参加できる具体的なしくみ作り。どのように考えているのか？	市民フォーラムでのご発言では、公民館についてのご質問でしたが、市からの回答では、公民館では公民館運営審議会、企画実行委員、準備会などの仕組みがありますが、新たな制度を検討する場合もあってよいと考えられるとのことでした。審議会としても、更なる「参加と協働」による施策の推進に期待しています。	修正なし
130	4	42	114	⑦（委員の発言の中から）PTAのかかわりについて言及されていたか？計画の中で位置づけられているのか？	「地域に開かれた学校づくり」の取組として、学校評価により保護者や地域の意見をいかし、よりよい学校づくりを推進するとともに、学校を地域の社会資源と考え、家庭や地域とのつながりを深めるものとしています。	修正なし
131	4	42	107・124 116・127	⑧放課後子どもクラブ→放課後子ども教室 子育て支援ネットワーク？子育て支援地域ネットワーク？統一して下さい	誤植です、申し訳ありません。放課後子ども教室、子育て支援ネットワークが正しい語となります。	修正なし
132	4	42	財20	学校教育にもっと予算を投入してほしいです。小金井市は、先生方の中でも勤務地としては魅力的と聞いたことがあります。しかし、施設としても予算的にも、先生の努力の範囲を超えて苦しい状況があります。このままでは「いい先生」を呼びこむことが出来なくなるのではないかと心配です。	学校教育については、基本計画に基づいて、中期財政計画（案）では20の事業を盛り込まれています。今後も基本計画に基づいて、必要な予算措置がされ、施策の推進が図れるよう、市に求めています。	修正なし

No.	参加 回数	アンケート 番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
133	4	43	113	・P131 ノーマライゼーションの推進があるが、このノーマライゼーションの考え方は「学校教育」にも必要です。特別支援教育が学校では進められていますが、基本はノーマライゼーションの考え方で進めることだと思います。	審議会での議論を踏まえ、「子ども、女性、高齢者、障がい者、同和問題、外国人その他様々な人権問題にかかわる差別意識の解消を図るため、人権教育を一層推進します」との取組を追加しています。従来から各学校で取り組まれてきたものだと考えられますが、基本計画で明確化されることにより、より一層の推進が図られることを審議会では期待しています。	修正なし
134	4	43	124	・P123-124 「高齢者の生活支援」に後見人制度も活用が必要だと思う。現在あるものの充実、更に市民の力も活用して、地域ぐるみで支援できる体制をとれるように進めてほしい。	ご意見のとおり、素案では、「成年後見制度の活用など高齢者の権利擁護を適切に行うため、権利擁護センターなどの関係機関との連携協力体制を整備します」としており、地域ぐるみでの支援体制づくりを進めるものとしています。成年後見制度は、権利に関わる重要な制度であり、慎重に検討して支援体制をつくっていくことが大切であると考えられます。現時点では素案の修正は難しいと思いますが、「まちづくりの基本姿勢」である「参加と協働」によって、施策が推進されることを審議会では期待しています。	修正なし
135	4	44	139・140	これからもこのような市民ニーズのすい上げをしていただきたいと思えます。	ありがとうございました。素案では「参加と協働」を進めるものとしており、審議会としても、今後も市民ニーズを把握・共有し、市民参加が進められることを期待しています。	修正なし
136	4	45	-	・このような説明会は事前に数回やっておくべきと思う	ご意見ありがとうございます。審議会では、基本構想(素案)中間報告に関する説明と意見聴取の場として、市民懇談会を平成21年12月20日に2回開催しました。ご意見を参考に、後期基本計画策定の際には、より一層の市民参加が図れるよう、市として検討してもらいたいと考えています。	要検討
137	4	45	-	・一般市民感覚と実業務で担当苦労されているのでは意見の内容が違う	ご意見のとおり、一般市民感覚と業務担当者では意見が違ふことはあるかと思われます。だからこそ、「参加と協働」を進め、市と市民の「対話と議論」が必要なのだと考えています。	修正なし
138	4	45	-	・実行できることを具体的に説明してもらった方が良いのでは。	基本計画は、基本構想に次ぐ上位計画であり、課題別の諸計画と比べると抽象的にならざるをえませんが、新たに「成果・活動指標」を達成するための「主な事業」を具体的に記載しているものです。ご理解いただければ幸いです。	修正なし
139	4	45	-	・今日は、小金井市の姿を勉強できて参考になりました。 ※市役所の皆さん、ご苦労さんです。	ありがとうございました。市職員にとっても励みになると思われ、「参加と協働」の推進のため、このような市民フォーラムの開催を要請した審議会にとっても、ありがたいお言葉です。ぜひまた、このような機会がありましたら、ご参加いただければ幸いです。	修正なし
140	4	46	71	①道路の「ほそう」は、ちょっとひどいと思う。改良をお願いします。	生活道路の維持について、素案では直接記載されていません。適切な維持がされるよう取組を追加する方向で検討します。また、市民フォーラムでは市から回答がありましたが、市の方で、ご意見を踏まえて業務の中で対応されることを期待しています。	要変更
141	4	46	34	②市庁の建設以外はすべて「横断的重点的」にやっていただければいいが、具体論がなければ質問できない。	庁舎の建設については、審議会でも議論のあったところですが、「重点プロジェクト」としていません。基本計画は、基本構想に次ぐ上位計画であり、課題別の諸計画と比べると抽象的にならざるをえませんが、新たに「成果・活動指標」を達成するための「主な事業」を具体的に記載しているものです。ご理解いただければ幸いです。	修正なし
142	4	47	139	・ニーズを把握する努力を続けてください	ありがとうございます。素案では「参加と協働」を「まちづくりの基本姿勢」とし、「市民ニーズの把握と共有化」を施策としています。今後、そのように施策が進められると思いますので、各種調査や参加・協働の機会においては、ぜひご参加・ご協力ください。	修正なし

No.	参加 回数	アンケート 番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
143	4	47	-	・アピールの方法を考える必要があるのではないのでしょうか。	審議会では市に対して通常以上の周知を要請し、住民基本台帳から無作為抽出された市民2千人に参加依頼書を送り、市報にも2回掲載し、掲示板や市のホームページにも掲載しましたが、ご意見のとおり、より一層の参加が得られるように工夫を重ねるべきであると考えています。	要検討
144	4	-	12	基本構想の「基本的な指標」については第三者による検証を考えているか？	「基本的な指標」は今回新たに設定したものです。評価することが必要と、審議会でも議論してきましたが、第三者評価の実施までは未検討です。市では、評価は庁内で取りまとめ、審議会に見てもらうことを考えているとのことでしたが、今後の課題として評価方法を検討することが必要であると考えられます。	要検討
145	4	-	132	障がいの早期発見について、新生児や乳幼児に対する取組となっているが、統合失調症などにも対応するため、中学校・高校での早期発見を追加し、学校での知識や対応の充実を図るべきである。	市の回答では、精神障害者支援センター「そら」及び障害福祉課での精神障がいの相談で、中高生にも対応しているとのことでした。確認したところ、市立小中学校では、特別支援教育のコーディネーターによる研修や校内研修を行い、理解を深めるとともに対応に努めているとのことでした。主として学校での対応ということになりますので、「学校教育」の「児童生徒の心と体のケア」及び「教職員の研修・研究の充実」として取り組まれるものであると考えられます。	修正なし
146	4	-	132	(精神障がい者の) グループホームの増設及び待遇の悪さを改善すべきである。	市の回答では、サービス供給体制の充実の中で、相談を受けて支援を行っているとのこと。職員・スタッフの待遇を基本計画に直接記載するのはあまりなじまないと考えますが、求められるサービスを実現するために、必要な処遇を与えることは求められると考えられます。	修正なし
147	4	-	12	将来像ははっきりしていてよい。これからは成長よりも地域の特色を重視すべきである。	ありがとうございます。ご意見のとおり、小金井市の特徴と課題をよく考えて、素案の審議を重ねてきました。この方向で、さらに審議を深めていきたいと考えています。	修正なし
148	4	-	-	子どもたちにも分かるような表現とし、子どもたちに期待していることを明確化して、小中学校で基本構想を説明していくことが必要である。	ご意見ありがとうございます。策定過程において子ども懇談会を開催して、中学生の意見を聞くとともに、子どもたちにもわかるような表現に努めているところです。また、第4次基本構想・前期基本計画をどのように周知していくかは未検討ですが、ご意見を参考に検討していきます。	要検討
149	4	-	124	高齢者でも、市内生まれの人と外から入った人では背景が違うので、分けた対応をしてほしい。	ご意見、よくわかります。同じ高齢者と言っても、知人の数等、生活実態が大きく変わっていくことがあると考えられます。ただ、素案では、それを高齢者福祉として対応を分けるというよりは、1つには「高齢者の活躍の場づくり」とおして交流を進めるとともに、もう1つは「重点プロジェクト」である「きずなを結ぶまちづくりプロジェクト」及び「コミュニティネットワーク」により、将来像のとおり、「きずなを結ぶ 小金井市」としようと考えています。	修正なし
150	4	-	71	小金井市はまちそのものは非常にコンパクトであり、今の道を活用し、広くするのではなく、車両制限などによって安全安心な道としていくべきである。	第1回の市民フォーラムでも同様の議論となりました。バリアフリー化を進めるとともに、歩行者を優先して自動車を規制する等が考えられます。「人にやさしい交通環境の整備」の中で「交通安全の推進」の取組として入れられないか検討します。	要変更
151	4	-	71	道路の舗装をもう少し何とかできないか。	生活道路の維持について、素案では直接記載されていません。適切な維持がされるよう取組を追加する方向で検討します。また、市民フォーラムでは市から回答がありましたが、市の方で、ご意見を踏まえて業務の中で対応されることを期待しています。	要変更

No.	参加 回	アンケート 番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
152	4	-	125	小金井さくら体操のリーダーは、教室に受講したら全てリーダーとなる。ボランティアでは困ることがあり、今後、会場及び予算とか制度をどうするつもりか。	市の回答では、会場を増やすとともに、平成22年度は少し予算を確保しているので、足りないものを少し補充することができたとのことでした。今後も「参加と協働」により介護予防が進められることを期待しています。	修正なし
153	4	-	128	児童虐待が絶対に出ないように仕組みづくりをしてほしい。	児童虐待については児童相談所が大きな役割を果たしますが、市でも子ども家庭支援センターを平成19年度に先駆型に移行し、虐待にも対応する体制を整えているとのこと。素案では、「子ども家庭福祉」の「子どもの権利が尊重される社会づくり」の中の取組としていますが、虐待は何より子ども自身に、そして保護者にも容易には消えない大きな傷跡を残すこととなりますので、「子育て支援」の基本的な取組として、しっかりとした対応を期待しています。	修正なし
154	4	-	129	学童保育所など子どもの生活する場所を子育て支援に入れるべきである。また、学童保育の時間延長・夜間保育などを行うべきである。	学童保育所は、ご意見のとおり、子どもたちが生活する場所としての側面もありますが、素案では「子育ての支援」としてしていますので、ご理解ください。時間延長については、親子の時間を減らすことにつながる等の指摘もあり、ワーク・ライフ・バランス等も含めて、慎重な検討を要すると考えています。持ち帰って、検討します。	要検討
155	4	-	-	基本構想・基本計画の説明は3日間聞いて、やっと分かるようになってきた。市のホームページから会議録を見ると、本日の説明は氷山の一角であり、様々に議論されている。公募市民の委員がすごく勉強・努力されており、進んだフォーラムであると思う。	ありがとうございます。これまでの苦勞が実る思いです。今後とも、「参加と協働」を推進していくために、議論を深めていきたいと考えています。	修正なし
156	4	-	143	小金井市に住んで15年、評価制度がようやく出てきた。現状として何をやって、どういう成果が出て、今後どうするのかを掲載すべきである。	ご意見のとおりです。市では、事務事業評価を平成16年度から施行し、17年度から本格実施してきたとのことですが、第3次基本構想・後期基本計画には明確な目標がありませんので、成果を評価するの困難であり、審議会でも苦しみました。素案では「基本的な指標」及び「成果・活動指標」を設定していますので、施策マネジメントを整備して、指標に基づいてPDCAを再構築していくこと申し訳ありません。説明資料及び中期財政計画などの作成が間際となり、そうした配慮に欠く状況となってしまいました。改めて、市に早い対応を求めるとともに、今後の参考として、適切な情報の整理や提供を検討したいと考えています。	修正なし
157	4	-	-	参加者には資料を事前に送るべきであり、通し番号などの整理をすべきである。普通の市民にこのようなやり方をとっていたら、成り立たない。	ご意見のとおり、障がい児保育は「子ども家庭福祉」にも関わりのあることですが、原則として、1つの取組は1つの分野で書くこととしており、ご理解いただければ幸いです。	要検討
158	4	-	128	保育所の拡充について、ゼロ歳児の待機児童が多く、早急な対応が必要である。	審議会でも待機児解消については保育サービスの向上とともに議論があったところです。市の回答では、運営方法も考えながら待機児解消を図りたい、当面、平成22年4月1日から認可保育所・認証保育所が1園ずつ開園し、1園が定員増となるとのことでした。市として、「成果・活動指標」に基づいて、待機児ゼロを目指して取り組んでいただきたいと思います。	修正なし
159	4	-	132	障がい児保育を、子ども家庭福祉にも記載すべきである。	ご意見のとおり、審議会でも議論したところです。市としても、準要保護世代に対する支援を行っているとのことですが、市の方で、事業を実施する中で、ご意見を参考に検討していただきたいと思います。	修正なし
160	4	-	121	潜在的な生活困窮者への支援をPRすべきである。		修正なし

No.	参加 回	アンケート 番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
161	4	-	124	介護に当たる者へのケアが必要である。	ご意見のとおり、審議会でも議論したところですが、素案では介護に当たる者へのケアは盛り込まれていません。市に確認したところ、介護保険サービスの一環として、ショートステイの他、ボランティアが軽度の認知症の方の話し相手となって、ご家族のお時間確保を支援する「やすらぎ支援事業」などを行っているとのことでした。ご意見を踏まえて、現状を踏まえた内容となるよう検討します。	要変更
162	4	-	123	認知症サポーター育成制度の養成講座は何回行い、どのようにPRしたのか。4千人育成はどのようにやっていくのか。商店街の人にサポーターになってもらおうとよい。	審議会で調べたところ、厚生労働省では、「認知症を知り地域をつくる」キャンペーンとして認知症サポーター100万人キャラバンを実施し、認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトの育成を図っています。市もその中で養成講座を実施するというもので、市以外でも社会福祉協議会や株式会社武蔵野などが講座を主催したり、企業では全社員が取得を目指したりしているようですが、市内の各団体等で受講の動きが広がることを期待しています。	修正なし
163	4	-	136	高齢者の場合、どの人が往診してくれるのか。	高齢者に対する医療体制の整備は、大きな関心があるところだと予想されます。審議会では、議論を踏まえて、「健康・医療」の「地域医療体制の充実」の中で医療機関の情報提供などを充実を追加したところです。医療機関の情報提供の中で、ご意見の往診等についても取り扱う等を市の方で検討していただければと考えます。	修正なし
164	4	-	136	受動喫煙防止の導入の考え方はないのか。	第3次基本構想・後期基本計画では「健康・医療」で喫煙対策が取扱われていましたが、素案では削除されています。ご意見を踏まえ、掲載する方向で検討します。	要変更
165	4	-	136	潜血反応（検便）を検診に入れてほしい。	各年齢層に応じた疾病の予防・早期発見の機会として、各種検診・健康診査の充実を図ることとしています。基本計画では、個々具体的な検診を記載するのは細かすぎるため、掲載は難しいですが、市の方で、各種検診の実施に当たって、検討していただければと考え	修正なし
166	4	-	128	多様化する保育ニーズへの対応に、「利用者との協議の上」と入れることはできないか。	ご意見については、審議会でも議論し、市にも検討を求めてきたところです。関係者との協議は、例えば道路の拡幅・工事やサービスの変更等、様々な事業の実施に当たって当然に行うべきことであり、保育サービスのみ記すのはいかかという意見が、審議会からも市からもあり、現状、素案のとおりとなっているところです。ご意見を踏まえ、「市民参加・市民協働」等の取組として記述するか	要変更
167	4	-	128	保育園の相談体制に、学童保育所も加えられないか。	審議会で市に確認したところ、保育所における相談は園児の保護者に限らず地域一般向けに相談事業を行っているものですが、学童保育所における相談は、児童の保護者の面談等とのことでした。対象者に対する個別の対応については、様々なサービスの中でも行われる一般的事項であり、学童保育でのみ明記する必要はないと考えら	修正なし
168	4	-	124	高齢者でひとり暮らしの場合の通院など、介護保険で使えないサービスもあり、充実を図ってほしい。	「かかわりの必要な高齢者支援体制の充実」の取組の内容のように、市では介護保険の対象とならない事業についても介護予防の観点からサービスの充実を図るものとしています。また、介護保険事業の中でも、上記の「やすらぎ支援事業」のように市が独自の事業を行っています。ご意見を踏まえて、市の方で事業を実施する中で検討していただきたいと思います。	修正なし
169	4	-	136	休日診療などの維持をしてほしい。	「健康・医療」の「成果・活動指標」の中で「休日・休日準夜診療の実施状況」を挙げ、目標を維持としています。ご意見のとおり、市内4か所、準夜1か所の維持がされると考えられます。	修正なし

No.	参加 回	アンケート 番号	関連頁	寄せられた質問・意見	質問への回答・意見の取扱	対応
170	4	-	136	人間ドックの補助金額を上げるべきである。	市の回答では、国民健康保険の財政状況は厳しく、人間ドック補助金額の引き上げは要望をいただいているところですが、困難であるとのことでした。市の方で、健全な運営を推進する中で、検討していただければと考えています。	修正なし
171	4	-	-	市民フォーラムでは、「計画の推進」は扱われないのか。	市民フォーラムでは、第1回「環境と都市基盤」から第4回「福祉と健康」までの4回全ての共通項目として取り扱ってきました。全ての分野において、施策を推進するために関連すると考えられるた	修正なし